



N.S. ニュース速報A

NSDAP/AO : PO Box 6414  
Lincoln NE 68506 USA  
[www.nsdapao.org](http://www.nsdapao.org)

#1081

02.12.2023 (134)

ミヒャエル・キューネン (Michael  
Kühnen)

# 政治的な兵役： SAの伝統と精神

第4部

だっさんせい

1934年6月30日にSAの優秀な指導者たちが処刑されたことで、SAの腰は砕けました。1945年まで何も変わることはなかった。第三帝国における実質的な機能を持たないSAは、以後、巨大で非政治的な軍事スポーツクラブを形成し、何の意味も持たなくなりました。1939年に再び始まった戦争でさえも、何も変わらなかった。SAは独自の軍団を結成することを許されず、SAの兵士のほとんどは他の国民と同様に国防軍で任務を果たし、SAの指導者はいかなる形成的影響力も行使することができないまま、劣った指揮官として戦い、死んでいった。

したがって、政権を担っていた数年間は、今回のテーマにとってはむしろ非生産的である。しかし、たとえポジティブな可能性に欠けていたとして

も、SAの脱力感とネガティブな領域におけるその結果の分析は、SAの伝統について本質的な視点を提供するものである：

SAはその性質上、決して独立した政治勢力ではなく、常に党の戦闘的エリートのための組織的枠組みであることを意図していた。したがって、必然的に、SAの無力化は、SAが戦闘的な支部であったNSDAPの意義と主張にも影響を与えざるを得なかった。茶シャツは、国家社会主義精神の最も明確で純粋な表現者であったから、彼らの無力化は、革命的で形成的な力としてのNSDAPの衰退に事実上つながった。1934年6月30日の決定は、総統への忠誠を約束する見返りに、軍隊、行政、経済における権力の砦がそのまま残された反動との、あらゆるレベルと分業における革命の完成を放棄することをもたらした。これは、国家と社会生活の本質的な領域が、物事を形成する党の意志とその能力から引き離されたことを意味する。**党が国家を指揮する**

」というかつての主張は、社会的現実において実質的に無効化された。

NSDAPは、1933/34年の民族蜂起をきっかけに、できる限りの支配力を行使した。

1934年以降、革命は未完成のままであり、その手段においても、党は、当初のSAの革命的、理想的、戦闘的な要素を欠き、私がかつて別の場所で述べたように「記念行事を組織するための祝祭委員会」にますます墮落していきました！確かに、偉大なことが行われた：

NSDAPは、その下部組織によって、社会的領域ではドイツ労働者戦線、青少年教育の分野ではヒトラーユーゲント、ドイツ女性の勧誘と教育ではNS女性協会など、国家社会主義者の物事を形作る意志を実際かつ効果的に証明し、自己主張できるところで成功を収めた。これらの成果は、もし党がすべての領域でかつての全権委任を主張することに成功したならば、どのような効果があったかを想像させるものである。しかし、第三帝国は、その本質的な権力政治的基盤において、せいぜいドイツが国家社会主義になることであり、ローゼンベルクによれば、その実現には3世代ほど必要であった--つまり、国家社会主義によって完全に訓練・教育された最初の世代が成長するまでは。このように、国家社会主義国家は、当初意図されていたように、権力政治的勝利と革命党の形成力がすべての領域に浸透することに基づいていたのではなく、基本的には、党首が帝国首相にな

り、この地位に並外れた権限を付与する方法を理解していたという事実のみ依存していた。このことは、総統の死後、反動が急速に立ち上がり、自分たちの好みの体制を取り戻すことができたのに対し、国家社会主義運動が、党首を権力者に持たないまま、一世代にわたってほとんどすべての行動能力を失い、1970年代になってようやくそれを取り戻した理由も説明できる。

1944年7月20日以降、ボルマン首相率いる党本部は、党を権力に関与させることに成功した：アドルフ・ヒトラーは、10年ぶりにNSDAPの手に帝国の命運を取り戻したが、多くの点で遅すぎたのである。

戦争というストレスと苦難の中で、レームの懸念と提案の正当性が次第に明らかになっていく様子を観察するのは興味深い：ほぼ 10 年遅れで、国家社会主義の影響を受けた精鋭部隊としてのヴァッフェン SS と国家社会主義の人民民兵としてのフォルクススツルムの増強が、参謀総長のドイツ国防軍の当初の構想を実現し、ボルマン率いる党は 1944 年 7 月 20 日以降反動の力に対する必死のキャンペーンを行い、ドイツ国防軍指導部は反動の反逆者に満ちていることが判明した。

1945年の総統による2つの認証された声明は、1934年6月30日のSAの無力化が、第三帝国の決定的な悲劇となったことを如実に示している：

"私の墓碑にはこう書かれているはずだ：彼は将軍たちの犠牲者だった！」「エルンスト・レームは正しかった：革命的-国家社会主義的精神に満ちた国防軍が必要だった！」。

反動との妥協とSAの継続的な無力化に加えて、1934年6月30日には、第三帝国の崩壊に一役買うことになる第三の運命的な展開がもたらされた：ドグマティズムの誕生である！

教条主義とは、個々の信念、あるいは首尾一貫した信念の体系を絶対的な真理であると宣言し、それによって自然や現実の多様性と開放性を強奪して曲げようとする内的態度のことを意味します。なぜなら、絶対的な信念の檻の中に現実を閉じ込め、その形を変えようとする試みは、常に自然に

反する行動や、自然やその法則をドグマに従属させようとする非人間的な行動につながるからです。これは人間の内面的な性質と矛盾するため、教条主義はその信奉者に人為的でヒステリックな狂信を生み出し、内なる疑念をかき消すことを意図するが、その反対者は、妄想の体系に屈したくない、自然や現実を否定したくないという理由以外に正当な理由がないまま弾圧される。キリスト教の教義「不条理だから信じる」、自由主義・資本主義の基本法「人間の平等」のような原始的で高尚で単純なナンセンスから、「我々」の洗練されたシステム、カトリックの教義、精神分析、マルクス主義の教義体系まで、思想の非人間性がそこから生まれる現実に対する教義的歪みの弧は広範囲にわたっています。

一方、国家社会主義は、イデオロギーではない。妄想的な信念から独断的で人工的な教義を構築するのではなく、世界観と人生観として現実を見つめ、自然とその法則の知識によってその中に確固たる位置を獲得し、その上に自然で有機的な生活秩序を構築する。国家社会主義党はまた、独断的ではない。党の規律と路線への従属を要求するのは、思想的教義の絶対的真理を代表していると主張するからではなく、そのような規律は、戦闘的な革命運動が、自然に反する支配社会を、自然と種に適合する共同体、新秩序に置き換えることを可能にするために必要だからだ！

ここでも、人工的なイデオロギーは打ち込まれず、自由で革命的な生活態度が展開され、その中で、戦闘的な国家社会主義者（政治的兵士）は、人間社会における自分の適切な位置を見つけ、その戦闘的な献身を通じて新秩序の実現に貢献した！

なぜなら、教条主義は、その確実性と最終的な説明の約束と、その命令的な厳格さによって、多くの人々にとって、無慈悲な現実から逃れるための絶え間ない誘惑であるからだ。しかし、全体として、国家社会主義、党とそのSAは、常に教条主義とは無縁でありました。

これも1934年6月30日に変わった：反動がSAの無力化から利益を得ただけでなく、SAはそれ以降、1944年7月20日にその国家的信頼性の低さと裏切り行為が明らかになるまで無抵抗であり続けました！戦闘期、平時、戦時のSS隊員も政治的な兵士であった。これまでSAについて述べてきたことは、SSにも大いに当てはまる。SSはもともと、政治的兵士の中のさらなる選抜とエリート編成にほかならないのである。

したがって、SSが厳しい闘争の中で、一步一步、まず内部警備機構を征服し、最後にヴァッフェン＝SSとの戦争で、ついに国家社会主義革命軍を実現したことに驚くことはできません。これはまた、SS隊員の模範的な兵士としての偉大さ、仲間意識、規律、犠牲への意欲、献身を説明するものであり、彼らは多くの点でアドルフ・ヒトラーの国家社会主義者に対する主張-「人種と人格の価値の最も純粋な体现者」であるという-を実現していた！これらすべて、特にヴァッフェンSSの例には、政治的兵士の人生に対する姿勢の真のモデルが見られる。レームの考えによれば、これはSAとその精鋭部隊であるSAスタッフガードによって、最初から努力され実現されるべきものであった。

しかし、SSの問題は、1934年6月30日にSSの援助によって止められた必要な開発が、数年後、実質的にすでに負けた戦争を考慮して、SSによって補われなければならないことにあるのではなく、むしろ、SSは、SAと同様に、もともと国家社会主義運動内の政治兵士のモデルから出発したが、帝国総統ヒムラーの影響下で次第に独自のドグマ的イデオロギーが発達し、最終的に国家社会主義と名前だけ共通することにある、ということである：

SSは、SAが常に当然のように考えていたように、国家社会主義党の下部組織であり、したがってフォルクスゲマインシャフトの中に自分の居場所を見つけることに満足せず、自らを国家の中の国家として、フォルクスゲマインシャフトの一部ではなく将来の主人として捉えていた！

ここでは、SSのイデオロギーを詳細に分析し、その内面が国家社会主義者の人生観と相容れないことを証明する場ではありません。いくつかのキーワードだけで十分であろう：SSイデオロギーの構成要素は、北欧人種の至高性、スラブ民族の劣等性、絶対的支配階級としての世襲貴族の構築であった。これらはすべて、反自然的で独断的な信念であり、国家社会主義の人生観の核心部分と決定的に矛盾している！人種的多様性の認識（これは人種的憎悪を排除するものである！）、民族共同体の理念（これは、ドイツ国民の中で少数派に過ぎない北欧人種を一方向的に尊敬することと、新しい血の貴族の主人性を主張することと同様に相容れない！）

理論的には、SSはNSDAPの下部組織であったが、実際には、第三帝国に

において完全に独立した権力組織を形成するようになり、最終的にはアドルフ・ヒトラーへの個人的な忠誠の誓いによってのみ国家社会主義のフォルクススタートと結びついていた。

その権力の絶頂期には、SSの主要なサークルは、北欧人種に征服されたヨーロッパ大陸の国家の中核として、ブルゴーニュに独立したSSの秩序国家を建設し、最終的な勝利と総統の死、SSによる置き換えの後に国家社会主義党を主導勢力として置き換えることを夢見ていました。

明示する必要があります：

否定されるべきは、秩序やエリート教育、あるいは真の人種的貴族の考えではなく、北欧の選択性の妄想や同様の教条的退化との混合であり、意図されたフォルクスゲマインシャフトを人為的に引き裂き分裂させ、他のすべての民族や人種を我々に敵対させるものである！もちろん、そのような考えにふけるのはSSの中の小さな輪にすぎなかったが、残念ながら、それは非常に強力で、最終的には決定的なものであった。ヒムラーは基本的に国家社会主義を理解せず、ただこの口実を利用して、人種的プライドと誤解されたマスターヒューマンの自分のイデオロギーを押し付けようとしたのである。このSSのイデオロギーがどれほど我々の大義を傷つけ、国家社会主義人民国家の没落に貢献したかを理解するために、これ以上の詳しい説明は必要ないだろう！前述のように、このような独断的な傾向は、国家の中に国家を形成するのと同じくらい、SAにとって異質なものである！

したがって、私が1977年に新しいSAを作り始めたとき、歴史的なシュトルム・アブテイルングの伝統を公言するものでしたが、それには最初から、“私がこの運動で何か発言する限り、新しいSSは存在しない！”という決意も含まれていました。

その間、いくつかの抵抗にあいながらも、私たちのコミュニティでこれを完全に実施した。ANS/NA組織指導部の元メンバーであるアード・ハインツ・マルクスの周りに集まった、我々のコミュニティ内のSSウイングを取り巻く危機は、SSイデオロギーの有害な新版に対する我々の懸念がいかに正当なものであるかを示した。

もちろん、私たちの考えを独断的に歪める誘惑は、SSの輪に限ったことで

はありません。もちろん、SSの中にも（説明したように）肯定的なことはたくさんありましたが、SSの外では独断論が決定的な影響力をもって現れることはありませんでした。

しかし、SSは1934年6月30日のSAの権限剥奪の直接の受益者であったので、我々にとって、独断専行との闘いは、すでに論じた反動との闘いとともに、我々の立つ伝統の一部である！1934年6月30日が我々の運動の歴史の中で決して繰り返されてはならないという我々の誓いは、我々の共同体の中で独断的なイデオロギーと独立を目指す組織的傾向を断固として拒絶することを要求する。我々の政治的兵士にとって、これはSAの伝統の8番目の側面である！



**NS KAMPFRUF**  
KAMPFSCHRIFT DER NATIONALSOZIALISTISCHEN DEUTSCHEN ARBEITSPARTEI AUFLÄND- UND AUFRÜHRORGANISATION

September 1973

**Der Kampf geht weiter !**

Seitdem Hitler nach der Kapitulation der Wehrmacht am 8. Mai 1945 die nationalsozialistische Bewegung nicht als zu jener in der Nachtigebirge. Und zwar nicht nur in Deutschland, sondern auf globaler Ebene!

Maßnahme von Massenmord, Verdrängung, Verfolgung und Verdrängung haben nicht ausgereicht, die Kräfte der gesamten Welt gegen das geistliche Erbe Adolf Hitlers zu unterwerfen.

Alle Nationalsozialisten sind weniger arbeitslos, Volk- und Kameraden sind nicht als Schicksal im Kampf um die Erhaltung unserer weißen Völker.

Der Kampf ist zwar nicht gewonnen, aber die Größe des historischen Verbrechens ist heute noch viel größer als in der Vergangenheit.

Der vorwichtige Gegner ist aber dabei, das Volkstum - gegen alle weißen Völker (V - zu befragen, keine Mord und Ermordung, Überlebend und Kameraden.

Ob "Nazi" oder "Hitler", als im Weltkrieg oder im Massenmord, als im Propagandamaterial beworben oder auf einem Schindenschild anderer Art. Jeder Nationalsozialist hat seine Pflicht!

Hilf Hitler!  
Gottfried Lueck



**TROTZ VERBOT-NICHT TOT!**



N.S.ニュース速報A  
[www.nsdapao.org](http://www.nsdapao.org)  
#1005 19.06.2022 (133)  
NSDAP/AO: PO Box 6414 - Lincoln NE 68506 - USA

フロントレポート  
モリーへのインタビュー

第3部

NSG: 現在のプロジェクトは、明らかに哲学的で、アートに関連したものです。

このような話題が政治に与える影響について、あなたの考えをお聞かせください。

モリーです。フォトギャラリーの更新は続けていますが、主にAdolf Hitler and the Army of Mankind ([www.mourningtheneicent.com/truth.htm](http://www.mourningtheneicent.com/truth.htm))に集中して取り組んでいます。現在21ページですが、まだまだやるべきことがたくさんあります。第二次世界大戦の勃発は、まさに情報の地雷原です。1つのことについて情報を探しても、さらに2つほど調べたいことが出てくる。まるで、埋も



the **NEW ORDER**

Number 179 (2022) Founder 1978 April 26, 2022 (133)

**The Fight Goes On !**

Seventy years after the capitulation of the Wehrmacht on May 8, 1945, the postwar National Socialist movement is stronger than ever not only in Germany, but throughout Europe.

Decades of mass murder, expulsion, persecution, and defilement have not sufficed to destroy the seed of the brilliant idea of our much loved Führer Adolf Hitler.

All National Socialists and other socially-aware citizens and racial kinemen fight side by side for the preservation of our White folk.

The movement has indeed become stronger, but the danger of biological folk death is also much greater today than in the past.

The desperate enemy is in the process of committing genocide against all White folk. His means are non-White immigration, culture distortion, and race-mixing.

Whether "Nazi" or "Hitler", whether in election battle or street battle, whether armed with propaganda material or on a battlefield of a different kind, every National Socialist must do his duty!

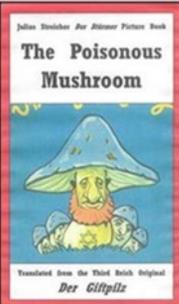
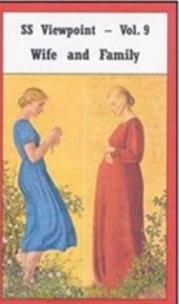
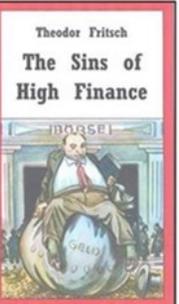
Hilf Hitler!  
Gottfried Lueck



**TROTZ VERBOT-NICHT TOT!**

# NSDAP/AOは世界最大です 国家社会主義プロパガンダサプライヤー！

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物  
多くの言語の何百冊もの本  
多くの言語の何百ものウェブサイト

<p>SS Defender against Bolshevism by Reichführer SS Heinrich Himmler</p> <p>FOR DANMARK! MOD BOLJHEVISM!</p>  <p>Translated from the SS Original</p>	<p>Julius Streicher Der Stürmer Picture Book</p> <p>The Poisonous Mushroom</p>  <p>Translated from the Third Reich Original Der Giftpilz</p>	<p>Reichlich Hoffmann</p> <p>Hitler in Italy</p>  <p>HITLER in ITALIEN</p> <p>English / German    Deutsch / English</p>	<p>SS Viewpoint - Vol. 9 Wife and Family</p> 	<p>Theodor Fritsch</p> <p>The Sins of High Finance</p> 	<p>Luftwaffe War Art Die Luftwaffe im Bild</p>  <p>English - German / Deutsch - English</p>
---	---	--	---	--	--

**BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!**  
[www.third-reich-books.com](http://www.third-reich-books.com)



**NSDAP/AO**  
**Fight Back!**



[nsdapao.org](http://nsdapao.org)  
Contact us to  
find out how  
YOU can help!